太田市社会福祉協議会
広報紙
つながる通信
Vol .45
発行日
2021年8月20日

「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」

５年後、１０年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していきます。

取材先　藪塚地区　台ラジオ体操

ラジオ体操が始まる頃、屋根付きのベンチの前に自然と人が集まりおしゃべりが始まります。ラジオ体操の音源が流れ始めると、おしゃべりをしつつ、「みんなの広場」へ移動し、体操が始まります。

体操が終わった後もおしゃべりをしており、にぎやかな雰囲気です。

ラジオ体操に毎日参加している坂本亘子（もとのぶこ）さん８０才は「朝起きると行かなくちゃという気持ちになる。毎朝ラジオ体操に参加しないと気持ち悪い！」と話します。また、小林栄子（こばやしえいこ）さん８１才も「ラジオ体操に参加することが一日のスタートで、おかげさまで体の調子がいい」そうです。

ラジオ体操は、２０１２年から始まり今年で１０年目。きっかけは子どもたちが夏休みに行うラジオ体操でした。現在では３６５日、雨の日でも風の日でも開催し、元旦は体操の後に初日の出を見るのが恒例になっています。また、ラジオ体操には、区長や老人会の会長など地区の役員も参加しており、お休みの人がいるとなぜ休みなのかの安否確認や各団体から連絡事項があれば伝えるなどの情報交換の場にもなっています。

夏休みになると子どもたちも参加し、より一層にぎやかになります。

「みんなの広場」は、地区で行事ができるような広い場所がほしいという声からできました。地域で芝刈りや清掃、花植えを1%まちづくり事業を利用して行っています。

ラジオ体操が終わった後はベンチで休憩！
冗談が飛び交い、わいわいがやがやと楽しい様子。１時間程おしゃべりをして帰るのがラジオ体操の恒例になっています。

裏面へ続きます→

地域のお宝発見　～太田市生活支援体制整備事業～

ラジオ体操の参加者を紹介！

戸谷敏一（とや　としかず）さん　７５才

ラジオ体操の発起人。定年退職をきっかけに地域のことに興味をもち、「住んでいる自分が楽しくなる、まわりの人も楽しくなる」ような地域になればと思い、様々なことを企画しています。

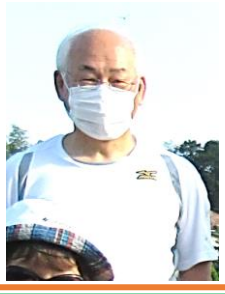
特にみんなの広場の管理やイルミネーションの設置は率先して動いています。趣味がたくさんあり、バイクや吹き矢、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、スキー、ゲートボール、グラウンドゴルフをされます。

コロナの影響で多くの地区の行事が中止になっている中、できること、できる行事を行い、毎日が忙しいそうです。

小林邦男（こばやし　くにお）さん　８２才

最年長のラジオ体操の参加者です。

ラジオ体操に来ないと、新聞の「おくやみ」で名前を探されてしまうから毎日来ているよと冗談を交えて教えてくれました。



小林哲夫（こばやし　てつお）さん　７０才

台水土里推進協議会の役員をされています。

「戸谷さんが一生懸命先頭きって動いてくれるからみんながついていく。人任せにしないから。」

加藤守（かとう　まもる）さん　６０代

漬物をつくるのが上手でみなさん、加藤さんの手作り漬物を心待ちにしています。

朝４時に起きてラジオ体操の前に１時間３０分かけて散歩をしています。

こんな工夫をしています！

出席簿

ラジオ体操に参加するとハンコを押してもらえます。

これは、参加者のモチベーションを保つための戸谷さんのアイディアです。

ハンコを押す人は交代制で戸谷さんや区長さんなどが担当します。

<左の写真>
ラジオ体操の様子。

<右の写真>
みんなの広場にある花壇です。地域の方々でお手入れされています。色とりどりのお花が咲いていました。

☑チェックポイント

○気軽に冗談を言い合える仲間がいることで、お互いに元気になれる！
○自分の趣味や特技を大切にされており、心も体も健康でいるための秘訣になっている。
○毎日開催しているラジオ体操に参加することが安否確認や情報交換、健康増進の場になっている。
○コロナ禍でもできる活動を継続することで地域との関係を切らさない。

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけ合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで！

詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会　地域福祉係
〒373-0817　群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033　FAX 0276-30-0032